

第 34 回 北陸地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 令和 5 年 2 月 2 日(木) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. 場 所 (Web 会議方式)
3. 出席者 辻本委員長、池本委員、関島委員、中田委員、平林委員、柳原委員
4. 議 事
 - (1) 手取川ダム定期報告書(案)について
 - (2) 横川ダム定期報告書(案)について
 - (3) 北陸地方ダム年次報告書(案)について

(1) 手取川ダム定期報告書（案）について

【総括】

平成29年度～令和3年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた手取川ダムの定期報告書（案）について、審議された。

その結果、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、手取川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書（案）については了承された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりである。

1) 防災操作

・なし

2) 利水

・なし

3) 堆砂

・なし

4) 水質

・富栄養化レベルが令和3年度初めて中栄養と判定されたため、今後注視が必要である。

5) 生物

・なし

6) 水源地域動態

・水源地動態に関する今後の方針について、ダムの利活用をより一層推進することに取り組むこと。

(2) 横川ダム定期報告書（案）について

【総括】

平成29年度～令和3年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた横川ダムの定期報告書（案）について、審議された。

その結果、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、横川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書（案）については了承された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりである。

1) 防災操作

・なし

2) 利水

・なし

3) 堆砂

・なし

4) 水質

・水質の評価についてはダム湖としての水質に関する評価と水利用としての評価を分けて記載した方が良い。

5) 生物

・特定外来生物について分布拡大防止のための情報発信を行っていることは重要なことである。

6) 水源地域動態

・なし

(3) 北陸地方ダム年次報告書（案）について

【総括】

大石ダム、手取川ダム、大町ダム、大川ダム、三国川ダム、宇奈月ダム、横川ダムの7ダムについて、令和3年度の管理・運用状況をとりまとめた北陸地方ダム年次報告書（案）について、報告された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりである。

1) 防災操作

・なし

2) 利水

・なし

3) 堆砂

・なし

4) 水質

・なし

5) 生物

・特定外来生物の駆除については、データがあるのであれば全体数に対してどの程度駆除しているかを示した方が良い。

6) 水源地域動態

・なし

以上